

へえ、さすが余裕やなあ

兄は、何時もの元気を装って言った。

「試験合図を受けた後、すぐ、俺は、今日、何をしたと思う？」と、僕に、兄貴は尋ねた。

「試験問題やったのやろ？」

「いや、その前や。」

「わからんがな。」

「鉛筆をけずった。」

「鉛筆？」

「そうや。」

それで、気持ち落着かせてから、やり出したんや。

試験官が 変な顔してけど、と、兄貴は僕に言った。

「へえ、さすが余裕やなあ。」

と僕は思ったが、口には出さなかった。

風呂に入り、

十一時頃まで、代数をやり、部屋に戻り、寝た。

兄貴の部屋に電気がついていた。